CS-M2

取扱説明書

目　次

安全上のご注意（安全に正しくお使いいただくために）

ご使用のまえに必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
またお読みになったあと、必要に応じていつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示の欄は「火災や人が死亡または重傷を負う危険が想定される」内容です。
	この表示の欄は「人が傷害を負う可能性、または物的損傷のみの発生が想定される」内容です。

絵表示の例

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

異常のとき（煙が出ている、変なにおいや音がする）は電源プラグを抜く

注意

電源プラグをコンセントから抜く

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して最寄りの支店に修理をご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない

分解禁止

● 本機のキャビネットは外さないでください。感電の原因になります。
内部の点検・調整・修理は最寄りの支店にご依頼ください。

● 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

本機を落としたときは

注意

電源プラグをコンセントから抜く

● 万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて最寄りの支店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

指定以外の電圧では使用しない

禁止

● 表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

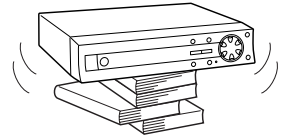
風呂場では使用しない

水場使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

禁止

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

内部にものや水などを入れない

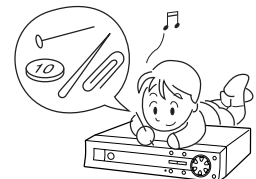
禁止

注意

電源プラグをコンセントから抜く

● 本機の開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

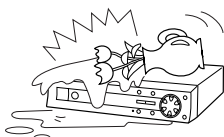
● 万一異物が本機の内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、最寄りの支店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。特にお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

● 万一本機の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、最寄りの支店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

⚠警告

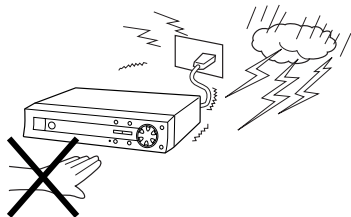
上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない

禁止

注意

- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷がなりはじめたらアンテナ線には触れない

接触禁止

- 雷がなりはじめたらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

背面の電源コンセントはオーディオ以外の電源には使わない

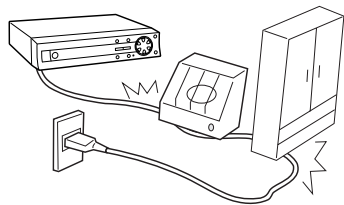
禁止

- 本機のAC電源コンセントが供給できる電力は300Wまでです。アイロン、ドライヤー、暖房器具など消費電力の合計が300Wを越えるものは接続しないでください。火災の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない

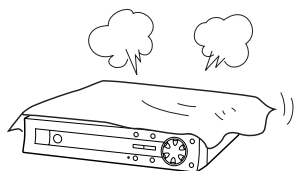
禁止

注意

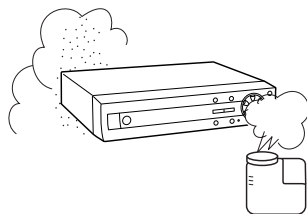
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）最寄りの支店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

⚠注意

本機の通風孔をふさがない

禁止

● 本機のキャビネットの通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
次のような使い方をしないでください。
・本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
・押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
・じゅうたんや布団の上に置く。
・テーブルクロスなどを掛ける。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

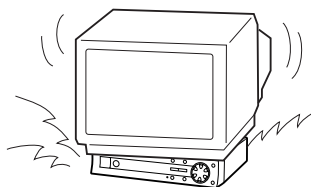
● 湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
● 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

移動させるときは必ず接続線をはずす

電源プラグをコンセントから抜く

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続線など外部の接続コードを外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

重いものを置かない

禁止

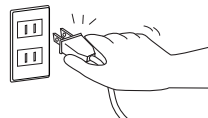
● 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
● 本機に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

禁止

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

注意

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが 傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ず電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜きさししない

禁止

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

● 機器で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖）の向きに注意する

● 電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれによる火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

● 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

お手入れの時は電源プラグを抜く

● お手入れのときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

3年に一度は内部の清掃を最寄りの支店に依頼する

● 3年に一度くらいは内部の掃除を最寄りの支店にご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、最寄りの支店にご相談ください。

お知らせ

アンテナ工事について

- アンテナの電波受信状況は、天候によって大きく左右されます。
- アンテナ工事には技術が必要ですので、最寄りの支店にご相談ください。

アンテナの立て方について

- 妨害電波の影響を避けるため、自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお立てください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。また、風でブラブラしないようにしっかりと固定してください。
- 金属の多い場所に配線することも避けてください。

アンテナの点検について

- アンテナを定期的に点検、交換することが、いつまでも美しい音楽をお聴きになるための秘けつです。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは寿命が短くなりますので早めに点検してください。

ラジオを近くに置かない

- 本機の近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ブー”というハム音が出ることがあります。本機から離してご使用ください。

直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない

- キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

接続機器の取り扱いについて

- 本機に接続して使用する機器の取扱説明書とその「使用上のご注意」もよくご覧ください。

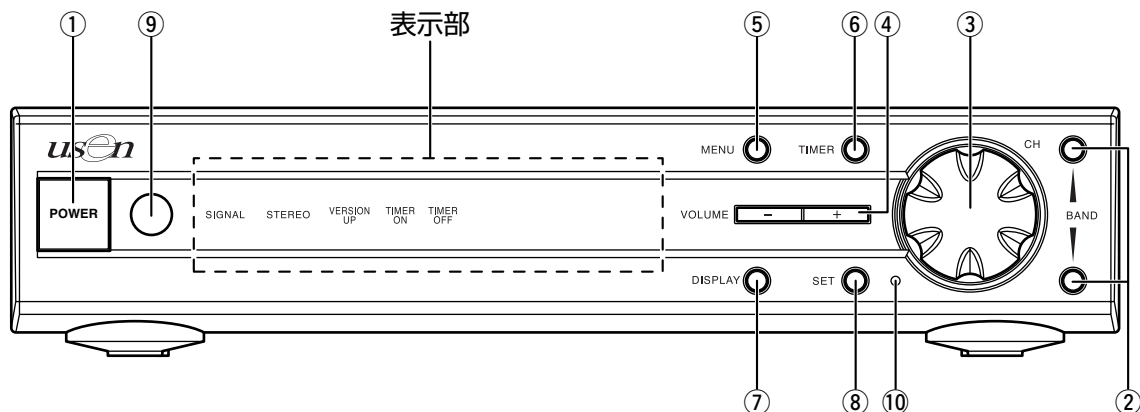
お手入れについて

- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、軟らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。

本機の機能動作について

- 誤動作、受信状況および故障などにより、本機が正しく動作しないことがあります。これによる付随的損害（機会損失などによる補償）は、当社は一切の責を負いませんので、あらかじめご容赦ください。

各部の名称と機能

フロントパネル

① POWERボタン
本機の電源を入／切をします。

② BANDボタン
BANDボタンを押すことにより、本体の選局受信チャンネル（表示を含む）のバンドがUPまたはDOWN（A〜Z）します。

③ CHANNELつまみ
CHANNELつまみを回すことにより、本体の選局受信チャンネル（表示を含む）のチャンネルがUPまたはDOWN（1〜99）します。

④ VOLUMEボタン
＋を押すと音量が大きくなり、－を押すと音量が小さくなります。

⑤ MENUボタン
将来の機能拡張用ボタンです。

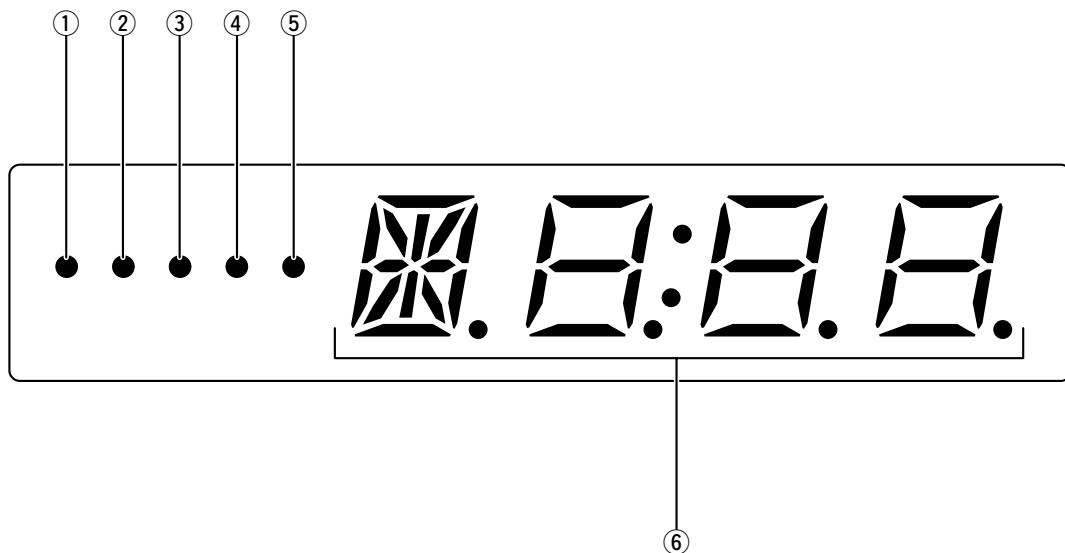
⑥ TIMERボタン
設定されたタイマーのオン／オフを行います。
TIMERボタンを押すことにより、設定されたタイマーのオン／オフが切り替わります。

⑦ DISPLAYボタン
DISPLAYボタンを押すことにより、タイマーの設定項目を選べます。

⑧ SETボタン
タイマーの設定項目や設定数値を決定します。

⑨ リモコン受信部

⑩ RESETボタン
本機のシステムリセットを行います。

表示部

① SIGNAL
ゆうせんネットワーク放送の信号が受信できない時に点灯します。

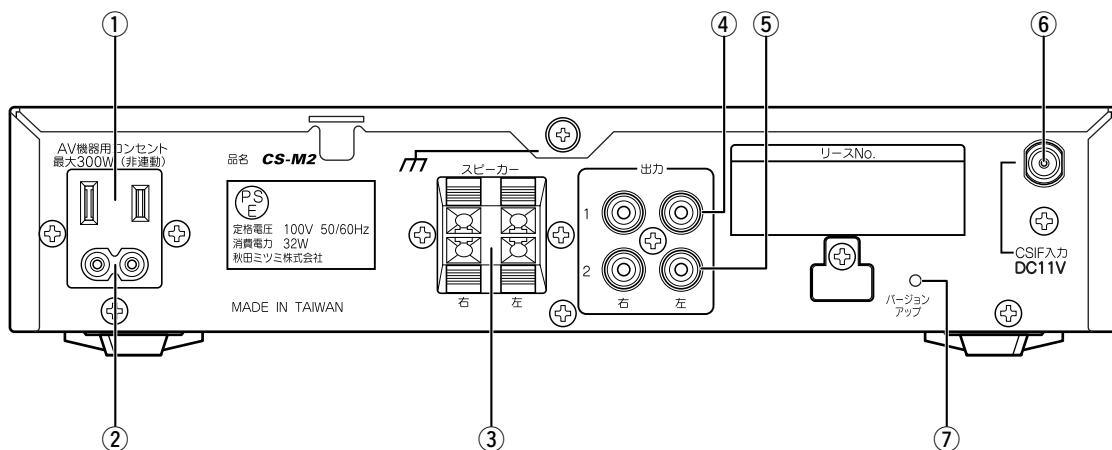
② STEREO
現在の音声がステレオ放送の時に点灯し、モノラル放送の時に消灯します。

③ Version UP
バージョンアップするソフトウェアがダウンロードされた時に点灯します。

④ TIMER-ON
オンタイマーが動作中に点灯し、設定中に点滅します。

⑤ TIMER-OFF
オフタイマーが動作中に点灯し、設定中に点滅します。

⑥ **バンド、チャンネル表示／時計表示**
本機の電源が「入」の時はバンド、チャンネルを表示します。
本機の電源が「切」の時は時刻を表示します。

リアパネル

① **ACアウトレット**
外部に接続する音響機器専用のコンセントです。
消費電力300Wまでの機器が接続できます。

② **ACインレット（電源入力）**
本機に付属の電源コードのプラグを接続し、電源コンセントと接続します。

③ **スピーカー出力**
スピーカーを接続します。

④ **音声出力1**
音量ボタンと連動せず、音声出力レベルは一定です。

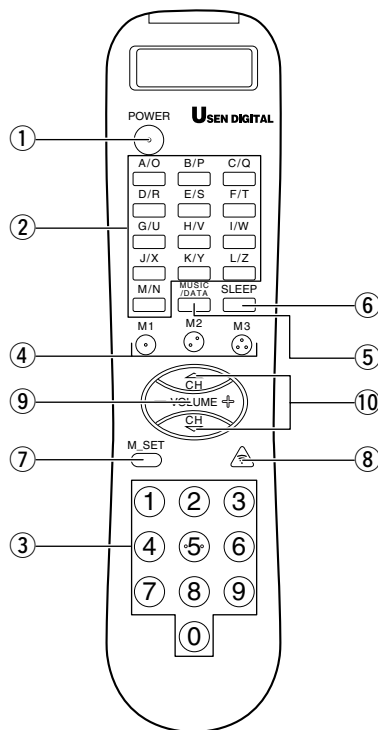
⑤ **音声出力2**
音量ボタンと連動して音声出力が変動します。

⑥ **アンテナ端子**
CSアンテナ線を接続します。

⑦ **Version UPスイッチ**
表示部のVersion UPが点灯しているときにバージョンアップスイッチを押すと本機のソフトウェアがバージョンアップされます。

● 接続するスピーカーは4～8Ωのものを使用してください。
それ以外のスピーカーは故障の原因となりますので接続しないでください。

● 接続するスピーカーの合成インピーダンスが4Ω未満の場合、長時間大きな音量で使うと本体が熱くなります。

リモコン

① POWERボタン
本機の電源を入／切します。
本体電源がオンの時に押すと、電源がオフになります。
本体電源オフの時に押すと、電源がオンになりリモコンに表示されているバンド、チャンネルに切り替わります。

② A/O〜M/Nボタン
バンドをダイレクトに切り替えます。

③ 0〜9ボタン
チャンネルをダイレクトに切り替えます。

④ M1〜M3ボタン
お好みのバンドおよびチャンネルが登録できます。

⑤ MUSIC/DATAボタン
本機では、使用することはありません。

⑥ SLEEP
本機では、使用することはありません。

⑦ M_SETボタン
M1〜M3ボタンにバンドおよびチャンネルを登録するのに使います。

⑧ 転送ボタン
リモコンに表示しているバンドおよびチャンネル内容に切り替えたいときに押します。

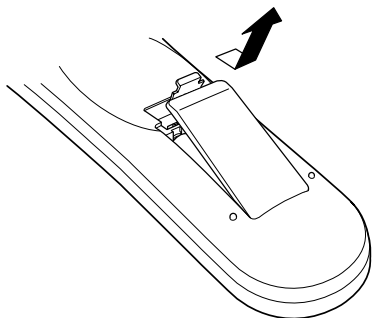
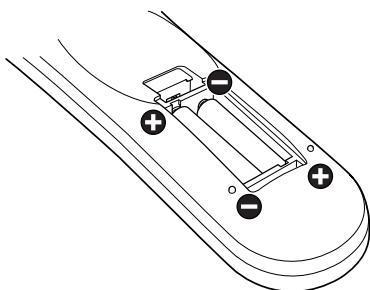
⑨ VOLUME+／-ボタン
＋を押すと音量が大きくなり、－を押すと小さくなります。

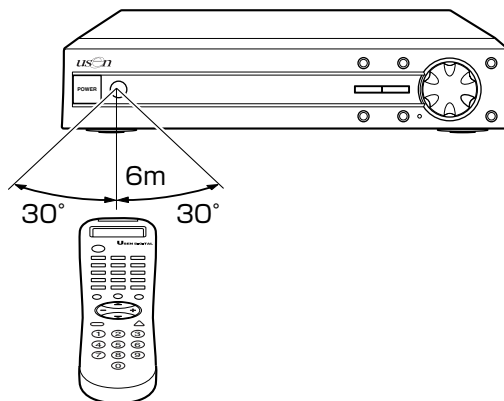
⑩ CHANNELボタン
現在リモコンに表示されているチャンネルのアップまたはダウンを行います。

リモコンの準備

リモコンに乾電池を入れます。

リモコンの乾電池の入れかた

1 リモコンのふたをあける

2 付属の単4形乾電池を、ケース内部の表示通りに、⊕と⊖の向きを合わせて入れ、ふたを閉める

リモコンの操作範囲について

リモコンは、フロントパネルのリモコン受光部の正面から、約6m、左30°、右30°の範囲内でお使いください。

リモコンの取り扱いかた

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないようにしてください。
- 充電式(Ni-Cd)電池は使用しないでください。

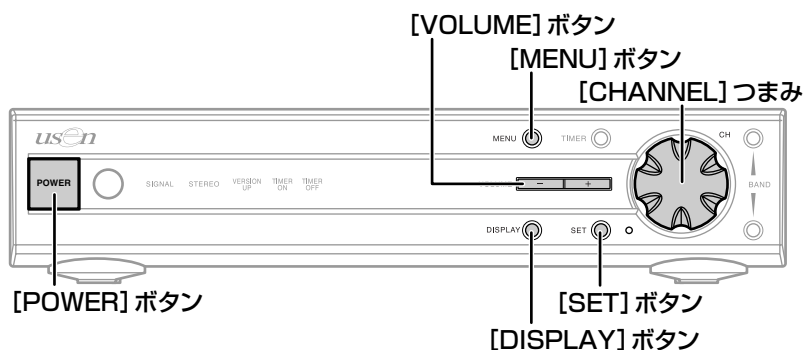
- 乾電池の交換は2本とも、新しい乾電池に交換してください。
- 古い乾電池を廃棄する場合は、他の廃棄物と区別して廃棄処分してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

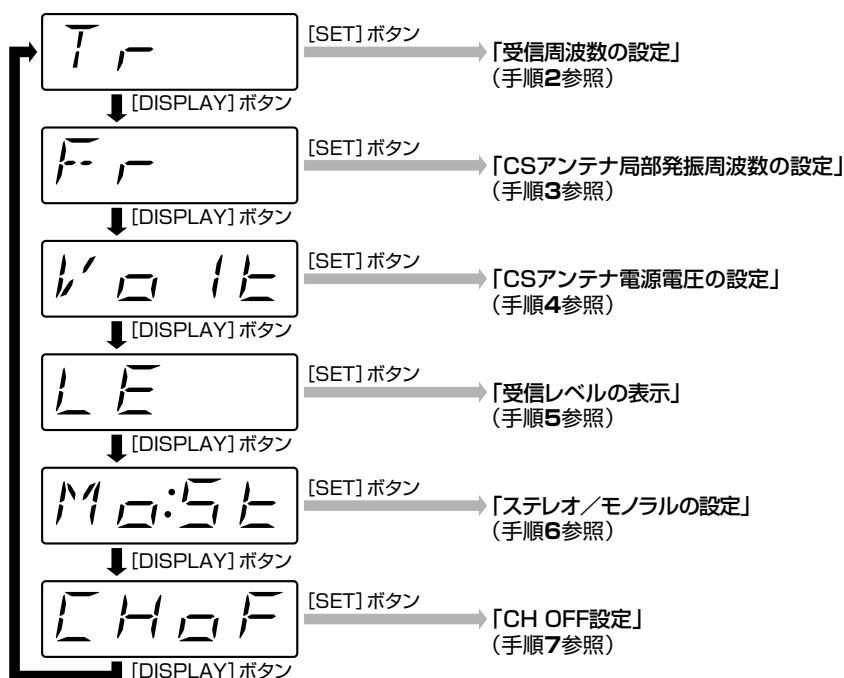
リモコンをお使いになるときは、リモコンと本体との間に障害になるような物を置かないでください。

注意
本体のリモコン受信部に直射日光や強い光が直接当たっている状態では、正しく動作しないことがあります。

ご使用前の設定（初期設定）

本機をご使用の前に次の設定を行います。

受信周波数の設定	CSアンテナの受信する周波数を設定します。
CSアンテナ局部発振周波数の設定	CSアンテナの局部発振周波数を設定します。
CSアンテナ電源電圧の設定	CSアンテナに供給する電圧を設定します。
受信レベルの表示	現在受信している信号レベルを表示します。
ステレオ／モノラルの設定	音声出力のモードを設定します。
CH OFFの設定	CH OFFの設定をします。

1 [MENU]ボタンと[SET]ボタンを押しながら[POWER]ボタンを押す

- 初期設定モードに入り、初期設定項目の選択が行えます。
- [DISPLAY]ボタンを押すたびに初期設定する項目が切り替わります。
- [SET]ボタンを押すと、各項目の詳細設定が行えます。
- [POWER]ボタンを押すと、初期設定モードを終了します。

2 受信周波数を設定する

- 現在設定されている受信周波数番号は点灯し、設定されていない受信周波数番号は点滅します。
- [DISPLAY]ボタンを押すたびに受信周波数が切り替わります。
- [SET]ボタンを押すと、表示していた受信周波数で確定し、初期設定項目の選択表示に戻ります。
- [POWER]ボタンを押すと、初期設定モードを終了します。

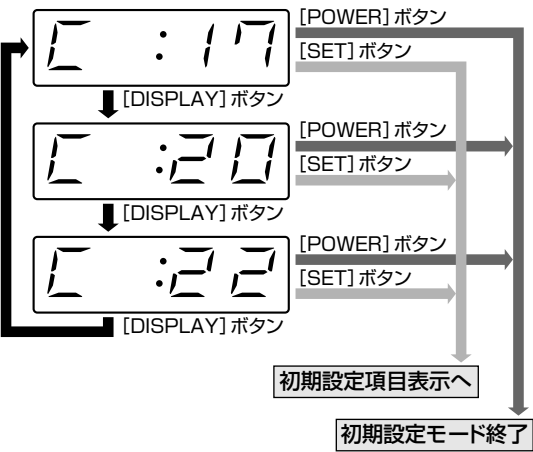



表 1

表　示	CSアンテナの受信周波数
C：17	12.508GHz
C：20	12.598GHz
C：22	12.658GHz

3 CSアンテナ局部発振周波数を設定する

- 現在設定されている局部発振周波数番号は点灯し、設定されていない局部発振周波数番号は点滅します。
- [DISPLAY]ボタンを押すたびに局部発振周波数が切り替わります。
- [SET]ボタンを押すと、表示していた局部発振周波数で確定し、初期設定項目の選択表示に戻ります。
- [POWER]ボタンを押すと、初期設定モードを終了します。

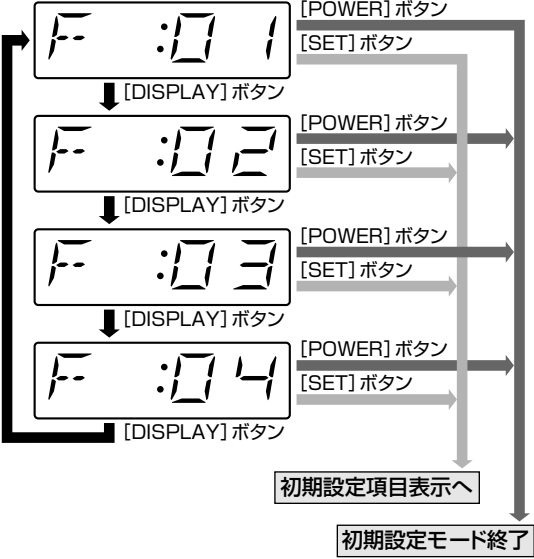



表 2

表　示	CSアンテナ局部発振周波数
F：01	10.678GHz
F：02	11.200GHz
F：03	11.250GHz
F：04	11.300GHz

- CSアンテナ局部発振周波数は、お使いのCSアンテナに合わせて設定してください。

4 CSアンテナ電源電圧を設定する

- 現在設定されている電源電圧は点灯し、設定されていない電源電圧は点滅します。
- [DISPLAY]ボタンを押すたびに電源電圧が切り替わります。
- [SET]ボタンを押すと、表示していた電源電圧で確定し、初期設定項目の選択表示に戻ります。
- [POWER]ボタンを押すと、初期設定モードを終了します。

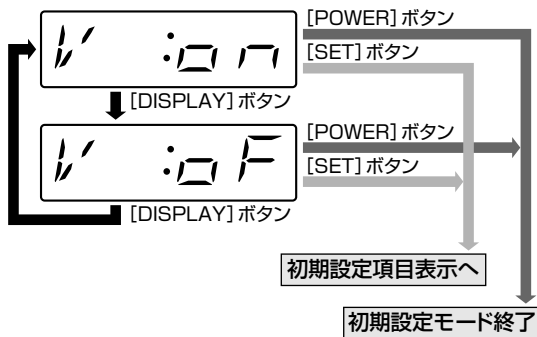
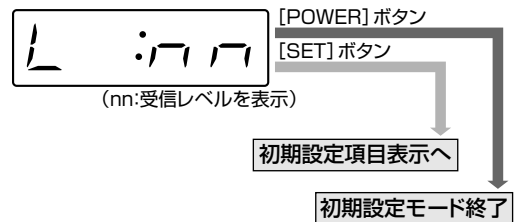



表 3

表　示	CSアンテナの電源電圧
V：on	11V
V：oF	OFF

5 CSアンテナの向きを調整して、受信レベルのピーク値をさがす

- 受信レベルのピーク値を本機が自動的に見つけ、表示部に表示します。
- ピーク値は40以上が目安です。天候により受信障害が出る場合がありますので、必ずピーク値に合うように調整してください。
- [SET]ボタンを押すと、初期設定項目の選択表示に戻ります。
- [POWER]ボタンを押すと、初期設定モードを終了します。

- CSアンテナ局部発振周波数は、お使いのCSアンテナに合わせて設定してください。
- 天候によりピーク値が変動して、受信レベルをピーク値と同じにできないことがあります。曇りや雨天の場合には、特に変動しやすくなります。
- 受信レベルのピーク値の変動が大きい場合は、一度初期設定を終了してから、もう一度行って見てください。例えば、受信レベルのピーク値と受信レベルの間に大きな差があり、ピーク値付近までいかない場合。（CSアンテナ調整時に雨が降ってきたりすると、受信レベルがピーク値までいかない場合があります）

6 音声出力の状態をステレオ／モノラルに切り替える

- 現在表示されている音声出力状態は点灯し、設定されていない音声出力状態は点滅します。
- [DISPLAY]ボタンを押すたびに音声出力状態が切り替わります。
- [SET]ボタンを押すと、表示していた音声出力状態で確定し、初期設定項目の選択表示に戻ります。
- [POWER]ボタンを押すと、初期設定モードを終了します。

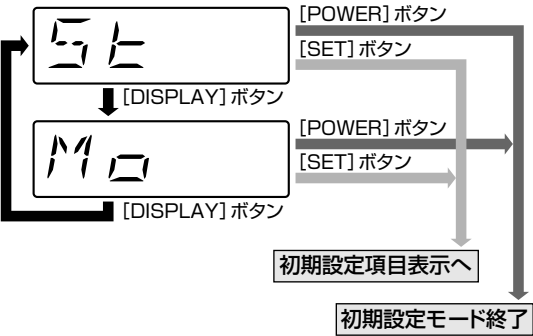
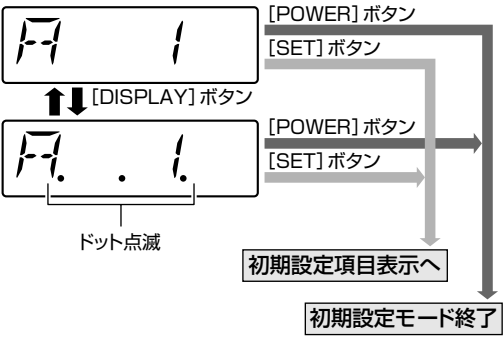



表 4

表　示	音声出力
St	ステレオ放送：ステレオ出力 モノラル放送：モノラル出力
Mo	ステレオ放送 モノラル放送：モノラル出力

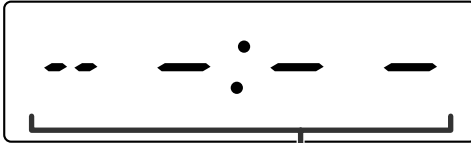
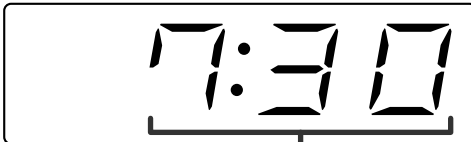
7 CH OFFの状態を設定する

- CH OFF設定されているチャンネルはドットが点滅し、設定されていないチャンネルのドットは消灯しています。
- [DISPLAY]ボタンを押すたびに“CH OFF”と“CH ON”を繰り返します。
- [BAND]ボタン、[CHANNEL]つまみでバンドとチャンネルを選択します。
- [VOLUME（＋）]ボタンを押すと全チャンネルが“CH OFF”に、[VOLUME（－）]ボタンを押すと全チャンネルが“CH ON”になります。
  [DISPLAY]ボタンを押すたびにCH OFF設定状態が切り替わります。
- [SET]ボタンを押すと、表示していたCH OFF状態で確定し、初期設定項目の選択表示に戻ります。
- [POWER]ボタンを押すと、初期設定モードを終了します。

時計表示の確認

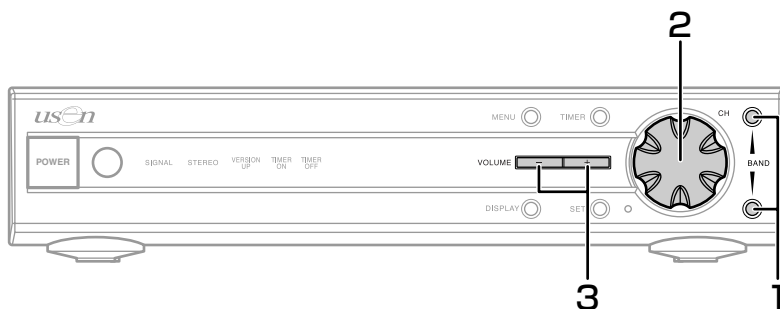
本機は、受信したデータを元に自動的に現在の時刻を設定しています。手動で時刻を設定する必要はありません。

本体の電源コードを電源コンセントに差し込んだ後、表示された時刻が正しく表示されているか確認してください。

---

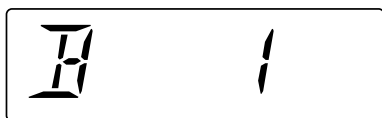
1 本体の電源コードを電源コンセントに差し込み、初期設定終了後、本機が自動的に現在の時刻データを受信して表示することを確認する

例：7時30分

- 本機は受信データから現在の時刻を自動的に設定しますので、ボタン操作による現在の時刻の設定はできません。
- 本機は一度現在の時刻データを受信した後は本機内蔵の時計を自動的に常時更新しますので電源プラグは抜かないでください。
- 初期設定終了後、5分程度経過しても現在の時刻が表示されない場合はもう一度初期設定からやり直してみてください。天候によりデータが受信できなくなっている場合があります。

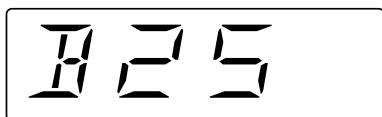
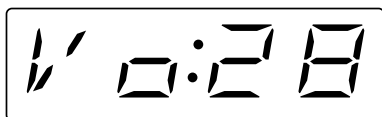
番組を選局するには

本体のボタンを操作して、番組を変更する場合

例：B25チャンネルにあわせる

---

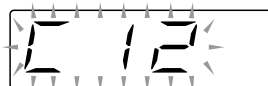
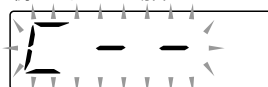
1 電源を入れ[バンド ▲]または[バンド ▼]ボタンを押してBバンドを選ぶ

---

2 [チャンネル]つまみを回して25チャンネルを選ぶ

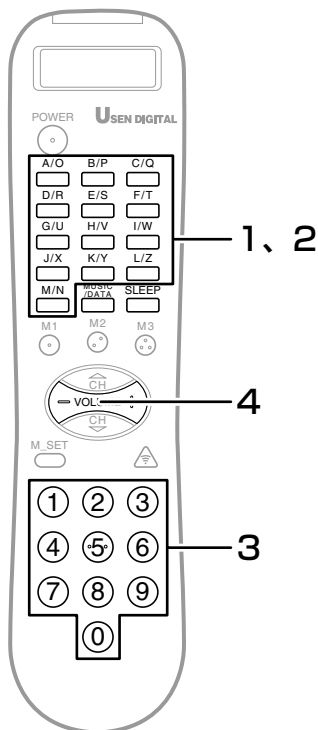
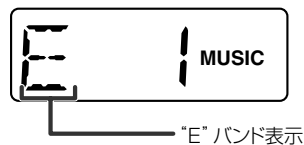
---

3 [VOLUME（＋)]または[VOLUME（－)]ボタンを押して音量を調節する

⚠

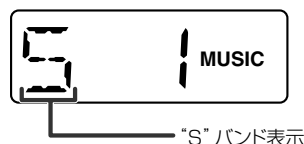
- バンド、チャンネル表示下のドットが点灯したチャンネルは音声が出ません。
- “SIGNAL”表示が点灯している場合はデータが正しく受信できていません。「故障かな？と思ったら」を参照してください。
- [バンド ▲]または［バンド ▼]ボタンを押して表示部が点滅した場合は、サーチした結果そのチャンネルが本機で受信できない設定であることを表します。

例:チャンネル“C12”の場合

- [チャンネル］つまみを回して表示部が点滅した場合、サーチした結果そのチャンネルが本機で設定できない設定であることを表します。

例:バンド“C”の場合

リモコンで番組を選局するには

リモコンを操作して、番組を変更する場合

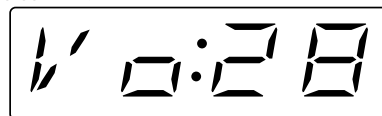
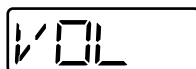
例：S25チャンネルにあわせる

1 電源を入れ、[E/S]ボタンを押してEバンドを選ぶ

2 再度[E/S]ボタンを押してSバンドに切り替わることを確認する

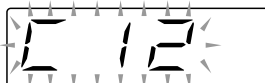
- 一度リモコンのバンドボタンの右側に表示されているバンドに切り替えると、バンドボタンは右側に表示されているバンドで切り替わります。

- リモコンのバンドボタンの左側に表示されているバンドに切り替えるには、リモコンに表示されているバンドのバンドボタンを押し、左側のバンドに切り替えます。

3 [2]および[5]ボタンを押して25チャンネルを選ぶ

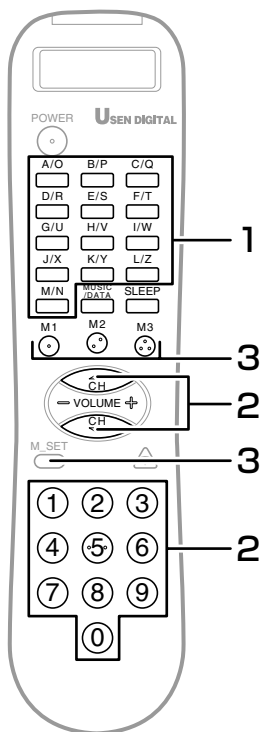
[チャンネル△]または**[チャンネル▽]**ボタンを押して25チャンネルを選ぶこともできます。

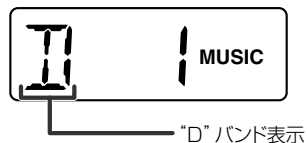
4 [VOL＋]または[VOL－]ボタンを押して音量を調節する

本体の表示

- バンド、チャンネル表示下のドットが点灯したチャンネルは音声が出ません。
- “SIGNAL” 表示が点灯している場合はデータが正しく受信できていません。「故障かな？と思ったら」を参照してください。
- [A/O]～[M/N]ボタンを押してバンドを直接選んだ時、または[0]～[9]ボタンでチャンネルを直接選んだ時に表示部が点滅した場合はサーチした結果そのチャンネルが本機で受信できない設定であることを表します。

例:チャンネル “C12” の場合

チャンネルをプリセットするには

よくお聴きになるチャンネルをあらかじめ3チャンネルまでリモコンにプリセットしておき、簡単に選局できる機能です。工場出荷時には全てのメモリーチャンネルに“A1”チャンネルが設定されています。

例：M1ボタンに“D38”チャンネルをメモリーする

1 [A/O]～[M/N]ボタンを押してメモリーしたいバンドを選ぶ

[D/R]ボタンを押して“D”バンドを選びます。

2 [0]～[9]ボタンを押してメモリーしたいチャンネルを選ぶ

[3]ボタンおよび[8]ボタンを押して“38”チャンネルを選びます。

3 [M_SET]ボタンを押しながらメモリーするボタン(M1～M3)を2秒以上押す

[M_SET]ボタンを押しながら[M1]ボタンを押して“D38”チャンネルを[M1]ボタンにメモリーします。

● リモコンのバンド、チャンネル表示が点滅して登録が完了です。

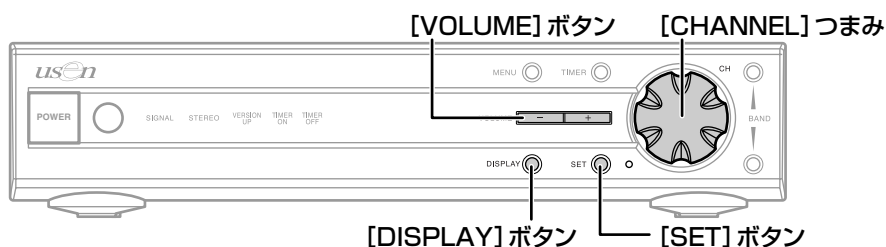
4 [M1]ボタンを押し、本体が設定したチャンネルに切り替わることを確認する

● DATAチャンネルはメモリーボタンに登録できません。
● リモコンの電池交換を行うと、メモリーは消去されます。再度設定を行ってください。

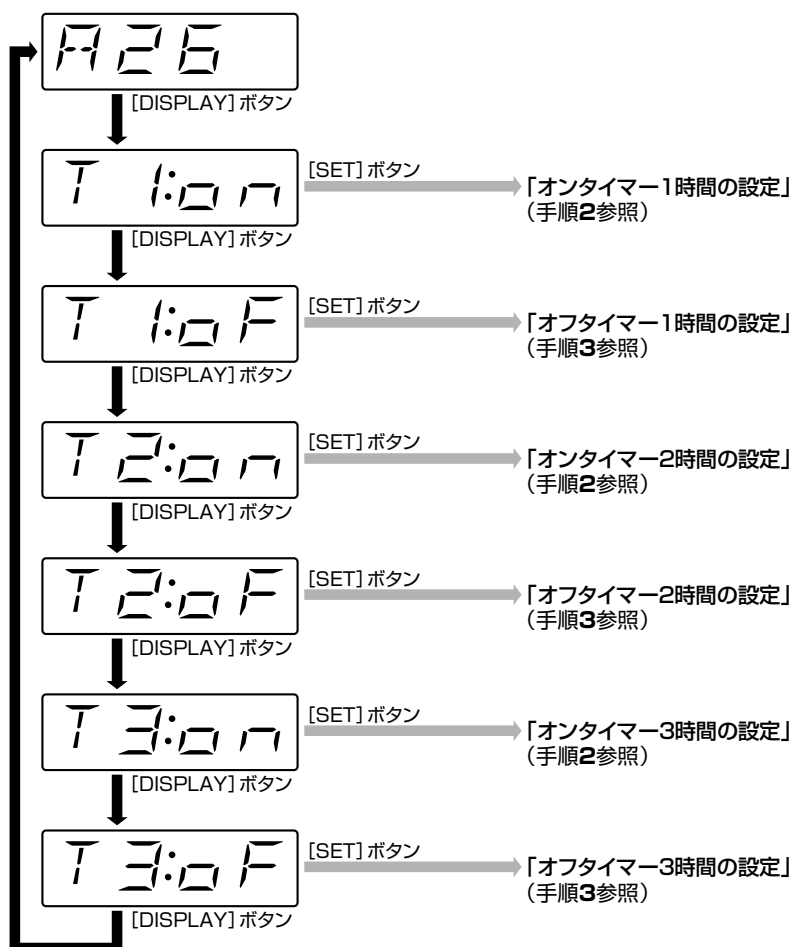
タイマーの使いかた

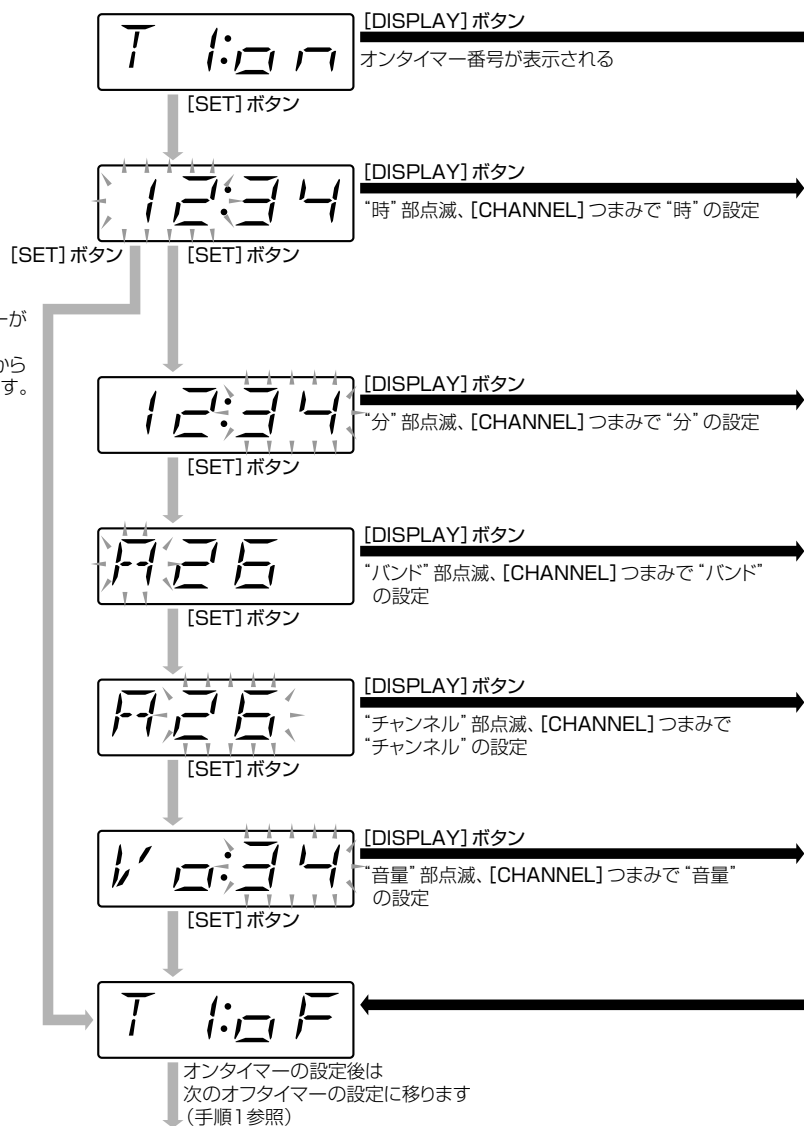
オンタイマー3つ、オフタイマー3つのタイマーを持っています。
それぞれ、以下の設定を行えます。

オンタイマーの設定 ………………………… 電源「入」にさせる時間、バンド、チャンネルおよび音量を設定します。
オフタイマーの設定 ………………………… 電源「切」にさせる時間を設定します。

---

1 [DISPLAY]ボタンを押す

- タイマー設定モードに入り、設定項目の選択が行えます。
- [DISPLAY]ボタンを押すたびに設定する項目が切り替わります。
- [SET]ボタンを押すと、各項目の詳細設定が行えます。

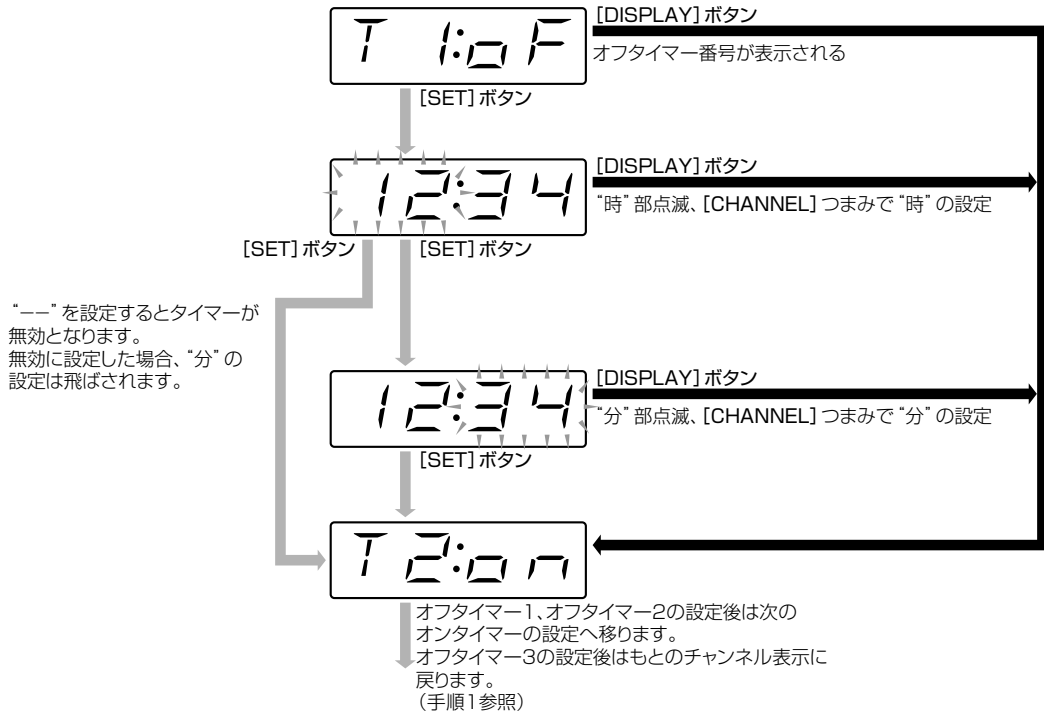
A26
↓ [DISPLAY] ボタン
T 1:on —[SET] ボタン→ 「オンタイマー1時間の設定」（手順**2**参照）
↓ [DISPLAY] ボタン
T 1:oF —[SET] ボタン→ 「オフタイマー1時間の設定」（手順**3**参照）
↓ [DISPLAY] ボタン
T 2:on —[SET] ボタン→ 「オンタイマー2時間の設定」（手順**2**参照）
↓ [DISPLAY] ボタン
T 2:oF —[SET] ボタン→ 「オフタイマー2時間の設定」（手順**3**参照）
↓ [DISPLAY] ボタン
T 3:on —[SET] ボタン→ 「オンタイマー3時間の設定」（手順**2**参照）
↓ [DISPLAY] ボタン
T 3:oF —[SET] ボタン→ 「オフタイマー3時間の設定」（手順**3**参照）
↓ [DISPLAY] ボタン（A26に戻る）

2 オンタイマー時間を設定する

● [DISPLAY]ボタンを押すと、オフタイマー時間設定に移ります。
● [SET]ボタンを押すと、各設定内容を確定し、次の設定内容に移ります。

オンタイマー1設定例

3 オフタイマー時間を設定する

● [DISPLAY]ボタンを押すと、受信モードに移ります。

● [SET]ボタンを押すと、設定内容を確定し、次の設定内容に移ります。

オフタイマー1設定例

設定したタイマーを動作させるには

設定したオンタイマー、オフタイマーを動作させます。

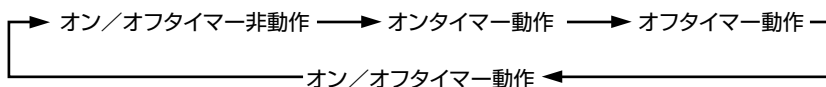
1 [TIMER]ボタンを押す

- オンタイマー／オフタイマーどちらにも有効な設定がない場合、[TIMER] ボタンを押してもタイマー動作になりません。
- オンタイマーにのみ有効な設定がある場合、[TIMER] ボタンを押す度に以下のように切り替わります。

  オン／オフタイマー非動作 ←→ オンタイマー動作

- オフタイマーにのみ有効な設定がある場合、[TIMER] ボタンを押す度に以下のように切り替わります。

  オン／オフタイマー非動作 ←→ オフタイマー動作

- オンタイマー／オフタイマーどちらにも有効な設定がある場合、[TIMER] ボタンを押す度に以下のように切り替わります。

- オンタイマー動作の場合、オンタイマー1、オンタイマー2、オンタイマー3が動作します。
- オフタイマー動作の場合、オフタイマー1、オフタイマー2、オフタイマー3が動作します。
- 各タイマーの設定時間に同じ時間を設定した場合、以下の優先度順に動作します。

  オンタイマー1 > オンタイマー2 > オンタイマー3
  > オフタイマー1 > オフタイマー2 > オフタイマー3

  オンタイマー1が最も優先度が高く、オフタイマー3が最も低くなります。

故障かな？と思ったら

電源プラグがはずれていたり、アンテナ線がはずれていたりするとCSチューナーの故障と間違えることがあります。最寄りの支店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理なさらず、最寄りの支店にご相談ください。

このようなときは	よくある事例	ここをお調べください
音が出ない（“SIGNAL” 表示が点灯）	① アンテナに障害物などが、かぶさっていませんか？	① 障害物を取り除いてください。
	② アンテナの方位角、仰角、偏波角が受信場所の角度にあっていますか？	② 方位角、仰角、偏波角を調整してください。
	③ 同軸ケーブルは正しく接続されていますか？ F型接栓が正しく加工されていますか？	③ 正しく接続してください。
	④ 受信設定は正しいですか？	④ 初期設定内容をご確認ください。
	⑤ CSアンテナ電源の設定は正しいですか？	⑤ 初期設定内容をご確認ください。
	⑥ 雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか？	⑥ 気象条件によるもので故障ではありません。
音が出ない	① CSチューナーとオーディオシステム、スピーカーと正しく接続されていますか?	① 正しく接続してください。
リモコンで操作できない	① リモコンの乾電池は、正しく取り付けられていますか？	① 乾電池を正しく入れてください。
	② リモコンの乾電池の寿命がなくなっていませんか？	② 乾電池を新しいものに交換してください。
本体の表示が誤動作したり、操作ボタンを受け付けない	① 内蔵マイコンが誤動作している。	① リセットスイッチをつまようじなどで押してください。

● 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。

エラー表示について

● CSアンテナケーブルがショート（短絡）している場合、右のようなエラーメッセージが表示されます。
エラーメッセージが表示されたときは、CSアンテナケーブルおよびケーブルのコネクタに異常がないか調べてください。

● アンテナケーブルを調べても、エラーメッセージが表示されるときは電源プラグをコンセントから抜き、最寄りの支店までご連絡ください。

仕様および付属品

仕　様

品　　名	CS-M2
受信周波数範囲	950MHz〜2150MHz
定格電圧	AC 100V　50/60Hz共用
消費電力	18W
音声出力端子	1系統2端子
スピーカー端子	1系統1端子
CS-IF入力端子	1端子
許容動作温度	10℃〜40℃
外形寸法	幅27×奥行23×高さ5.5（cm）
本体質量	約1.6kg

- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

付属品

- リモコン ………………………… 1個

- 単4乾電池 ……………………… 2本

- オーディオケーブル ……… 1本

- 電源コード ……………………… 1本

- コネクタ ………………………… 2個

- 取扱説明書 ……………………… 1部